

燦たり  
四中  
学校たより

# 磨き合う



21限目

2月  
27日  
金

## 大人になっていく君たちへ

大人に  
なりたいな...  
その2

先週のディズニーランドの話のつづきです。お父さんから届いた手紙の内容です...

先日は「サイン帳」の件、ありがとうございました。実は連れて来ていた息子は、脳腫瘍で「いつ死んでしまうかわからない」...そんな状態の時でした。息子は、物心ついた時から、テレビを見ては「パパ、ディズニーランドに連れて行ってね」「ディズニーランド行こうね」と毎日のように言いました。もしもしたら、約束を果たせなにかも知れない...そんな時でした。「どうしても息子をディズニーランドに連れて行ってあげたい」と思い、命があと数日で終わってしまうかも知れない、という時に、ムリを承知で息子をディズニーランドに連れて行きました。その息子が夢にまで見ていた「サイン帳」を落としてしまったのです。あの、ご用意していただいた「サイン帳」を息子に渡すと息子は「パパ、あたたね！パパ、ありがとう！！」と言って大喜びしました。その言いながら息子は数日前に息を引き取りました。死ぬ直前まで息子はその「サイン帳」をながめては、「パパ、ディズニーランド楽しかったね！ありがとう！！また行こうね。」と言いながら「サイン帳」を胸に抱えたまま、永遠の眠りにつきました。もし、あなたがあの時、あの「サイン帳」を用意して下さらなかったら息子は大人にも安らかな眠りにはつかなかったと思います。私は息子は「ディズニーランドの星」になったと思っています。あなたのおかげです。本当にありがとうございました。

で、ここで学ばなきゃいかんことがあります。このまじい話だ、で終わらせちゃいけません。ここで質問です。このスタッフは、たまたま運がよくて、こんな大事な時にこんなにいい仕事が出来たのでしょうか？

今回のこのスタッフのした仕事は人の人生を変えています！もちろん、そのとく、た子どもも嬉しかったと思いますが、それ以上に、その親の人生を変えている、と思うのです。ノ

みんなも子どもを持つば「わかりずが、自分の最愛の子どもがとくな、たこれほど悲しいことはない。でも、その子が最後、笑顔でとくなっていくのと、「あのサイン帳、どこにいったのかな...」と悲しみながらとくなっていくのでは全然違います。もし、あの「サイン帳」がなかったら、お父さんとお母さんは「とせなくてしま、たんだろ、自分がちゃんとしておけば...」と、一生悔憾ことでしょう。自分を責め続けたことでしょう。でも、このスタッフのした仕事で、このお父さんとお母さんがどれだけ救われたか、まちがなく今後の2人の人生を変えています。本当にすばらしい仕事です。たぶん、その人は普段からいつでも、どんなときでも、誰に対しても、精一杯のことをしていたんじゃないでしょうか？たから、こんな大事な時に、こんなにいい仕事が出来たんじゃないでしょうか？

今回の話でも、散々探して見つからなかったら、「申し訳ございませんでした。本当に一生懸命に探したのですが、どうしても見つかりませんでした。」この一言で十分です。お父さんも納得してくれたでしょう。誰もせめたりしないと思います。でも、自分にできることは...?と考えると、サイン帳を買いに行き、すべての部署を回ってサインを集めた。もちろん、仕事で、ヒマでやってるんじゃないんですよ。自分の仕事もたくさんあって、それを終えてから、勤務時間外にそんなことをやる。でも、「人が喜んでくれるんだら、それくらいのこと喜んでやります！！」っていう人だったから、大事な時にこういう仕事が出来たんじゃないでしょうか？

みなさんは、確実に大人になっていきます。何もなくても、時がたてば必ず社会に出ていく時がやってきます。その時に、どんな大人になって社会に出るのか...。それは今の10代の時の過ごし方で決まてきます。その人の人格や性格、気づきや心配りをする能力というのは、心が大きくゆれ動く思春期の今、身につくんですよ！！

「大人になりたい！！」という理想の自分を常にイメージしてください。損得勘定で、損しないことばかりにとらわれ、嫌なことから逃げ、めんどうさいことをして、楽な道ばかりを選ばないでください。人の喜びを自分の喜びに変えられる人になってください！！

3年生は最後の通信です。ご協力ありがとうございます！！



# 返信ありがとうございます!!

四中の子は素晴らしい!何の根拠もなく漠然と思っていましたが、それをはっきりさせる事がありました。他校の方のお話の中で、『まだ公立高校受験を控えているが、学校はうるさくて勉強出来ない』という話題が出ました。この間の授業参観ではそんなこと言ってなかったなと帰って子供に聞いてみました。すると「(他校は)自習うるさいと?四中は静かだよ、時々しゃべらす人もいるけど、声小さくしてくれて邪魔にならんよ!」という答えが返って来ました。ずいぶん前から学年主任の先生が『受験は個人戦、受験勉強は団体戦』と子供にも保護者にも言ってくださっていました。まだ我が子は受験が残ってますが、学校でもスムーズに勉強ができています◎そのような環境を作ってくださってる先生と、それを素直に受け入れている子供達に感謝致します。この子達はきっと、人の事を考える事が出来るディズニーランドのスタッフさんのような親切な大人になっていくのでしょうかね。

3年保護者の方から返信がきており、今回は3年最後の号だったので紹介させていただきます。

この中にあるように、3年生は今、おちついた雰囲気の中で進路公開に最後の授業と残り少ない生活をすごしています。私は、中学校の担任をしていて、3年間で一番この時期のクラスが大好きです。クラスの中には、いろんな仲間がいます。その中で、早々と高校が決まった人、おしくも不合格をもらった人、これから受験がある人...空気は、とても微妙な雰囲気になります。でも、決まった人は、ダメだった人や、これからの人たちのことを考えて、うかれずに勉強を続け、悲しい思いをした人は、まわりの人たちに気をつかわせないように明るくふるまいます。これからの方は、不安な気持ちをおさえて、平気なふりをします。お互いが、それぞれのことを思いやり、暖かい雰囲気になっていく。だから私は、この時期が一番大好きです。

どのクラスも、そんな雰囲気でおられるようにしましょね!

# 追伸

たまたまなんですが、この「みがきあう」をよんでいる人が、先日ディズニーランドに行かれたそうです。そこで、先週号の題字の書き方で、スタッフに記念シールに書いてもらった!とおみやげとして私にも送ってくれました!!

うれしいですね。

私がよこんでくれるかな、と思って、わざわざスタッフの所に並び、普通は名前とかを書いてもらうところに「みがきあう」と書いてほしいと頼み、おまけに「字のはしこになんか人と線をいれて、とまで注文し、不思議そうな顔をされながら書いてもらったそうです。相手の喜ぶ顔のために....

うれしいことですね!!

ほんと、たまたまディズニーのこと書いた通信の間の時におこた出来事でした。



こういう想いのこもったおみやげ...

おかしとかよりも、数倍うれしいですね!

